様式第４号－２

**２回目の制度利用申請用**

肝炎治療受給者証（インターフェロン治療）の交付申請に係る診断書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ふりがな患者氏名 |  | 性 別 | 生年月日（年齢） |
| 男　・　女 | 明・大・昭・平年　　　月　　　日生（満　　　　歳） |
| 住　　所 | 郵便番号電話番号　　　　　（　　　　） |
| 診断年月 | 　　　　　年　　　　　月 | 前医（あれば記載する。） | 医療機関名医師名 |
| 過去の治療歴 | 該当する項目にチェックする。１　Ｂ型慢性活動性肝炎の場合□　これまでにペグインターフェロン製剤による治療を受けた。□　これまでにペグインターフェロン製剤による治療を受けていない。２　Ｃ型慢性肝炎またはＣ型代償性肝硬変の場合(1) 過去のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の治療歴　□　以下の①、②のいずれにも該当しない。①　これまでの治療において、十分量のペグインターフェロン及びリバビリン併用療法の４８週投与を行ったが、３６週目までにＨＣＶ―ＲＮＡが陰性化しなかったケース。②　これまでの治療において、ペグインターフェロン及びリバビリン併用療法による７２週投与が行われたケース。　(2)　過去の３剤併用療法（ペグインターフェロン、リバビリン及びプロテアーゼ阻害剤）の治療歴　　□　３剤併用療法の治療歴なし。　　□　３剤併用療法を受けたことがあるが、十分量の２４週投与が行われなかった。　　　　（具体的な理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　(3)　インターフェロンフリー治療歴　　□　インターフェロンフリー治療歴あり。（薬剤名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）　　□　直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリー治療である。 |
| 検　　査　　所　　見 | 今回のインターフェロン治療開始前の所見を記入する。１　Ｂ型肝炎ウイルスマーカー　　（検査日：　　　　年　　月　　日）　　（注）１、２参照1. HBs抗原　（ ＋ ・ － ）
2. HBe抗原　（ ＋ ・ － ） HBe抗体　（ ＋ ・ － ）
3. HBV-DNA定量　　　　　　（単位：　　　　　、測定法　　　　　　　　　）

２　Ｃ型肝炎ウイルスマーカー　　（検査日：　　　　年　　月　　日）　　（注）１、２参照1. HCV-RNA定量　　　　　　（単位：　　　　　、測定法　　　　　　　　　）
2. ウイルス型　（該当する項目を○で囲む。）

ア）　セロタイプ（グループ）１、あるいはジェノタイプ　１ａ，１ｂイ）　セロタイプ（グループ）２、あるいはジェノタイプ　２ａ，２ｂ３　血液検査　（検査日：　　　　年　　月　　日）　　（注）１、２参照AST　　 　　　　　　IU/l（施設の基準値：　　　　～　　　　）ALT　　　 　　　　　IU/l（施設の基準値：　　　　～　　　　）血小板数　　　　　　/μl（施設の基準値：　　　　～　　　　）４　画像診断及び肝生検などの所見（検査日：　　　　　年　　　月　　　日）　　　（注）１、２参照　（検査方法）　　　　　　　　　　　　（所見） |

（様式第４号－２　インターフェロン治療診断書（２回目）ウラ面）

|  |  |
| --- | --- |
| 診　　　　断 | 該当番号を○で囲む。１　慢性肝炎　　（Ｂ型肝炎ウイルスによる）２　慢性肝炎　　（Ｃ型肝炎ウイルスによる）３　代償性肝硬変（Ｃ型肝炎ウイルスによる） |
| 肝がんの合併 | 肝　が　ん　　　　　　１　あり　　　　２　なし |
| 治療内容 | 該当番号を○で囲む。１　インターフェロンα製剤単独２　インターフェロンβ製剤単独３　ペグインターフェロン製剤単独４　インターフェロンα製剤＋リバビリン製剤５　インターフェロンβ製剤＋リバビリン製剤６　ペグインターフェロン製剤＋リバビリン製剤７　その他（具体的に記載　　　　　　　　　　　　　　　　　　）治療予定期間　　　　 週　 　　治療開始年月（予定含む）　　　　　　年　　　　月 |
| 診断書記載医師 | （直前の抗ウイルス治療がインターフェロンフリーの場合、以下の項目にチェックが必要です。）　□　診断書を記載する医師は日本肝臓学会肝臓専門医である。 |
| 治療上の問題点 |  |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記載年月日：　　　　年　　月　　日医療機関名　及び　所在地医師氏名 |

（注）

　１　診断書の有効期間は、記載日から起算して３か月以内です。

　２　HBs抗原、HBe抗原、HBe抗体以外の検査所見は、記載日前６か月以内（ただし、インターフェロン治療中の場合は治療開始時）の資料に基づいて記載してください。

　３　記入漏れのある場合は、認定できないことがあるので、ご注意ください。